

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	夢門塾ゆうゆう中寺		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	36	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画の作成・共有・実施が非常に丁寧で、保護者評価も高い。アセスメントを工夫し、保護者の意向を反映した計画作成ができている。	1階・2階をゾーニングし、静と動を分けた環境構成を行っている。時間差利用や部屋封鎖など安全面の工夫も実施している。	人員配置の安定化を図り、職員配置に対する保護者の不安を軽減する必要がある。
2	活動プログラムのバリエーションが増え、固定化しないよう工夫されている。外出イベントや地域参加も取り入れ、実体験を重視した支援が実施されている。	保護者との関係構築を大切にし、負担軽減を意識したアセスメント方法を採用している。送迎時の情報共有も丁寧に行っている。	児童館や地域との交流機会を増やし、地域支援の視点を強化する。
3	活動プログラムのバリエーションが増え、固定化しないよう工夫されている。外出イベントや地域参加も取り入れ、実体験を重視した支援が実施されている。	保護者との関係構築を大切にし、負担軽減を意識したアセスメント方法を採用している。送迎時の情報共有も丁寧に行っている。	家族支援プログラムや保護者交流機会を計画的に導入し、家庭支援機能を拡充する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員配置について「十分とは言えない」と感じている保護者が一定数いる。	人員確保が十分でなく、時間帯によって配置が不安定になることがある。	継続的な人員補強と育成により、安定した配置体制を確立する。
2	地域交流（児童館・放課後児童クラブ等）との関わりが少ない。	地域交流は意向はあるものの、実施体制や調整の難しさがある。	他教室との合同イベントや地域施設活用を通じ、交流機会を段階的に増やす。
3	家族支援（ペアレントトレーニング・保護者会等）が十分に実施できていない。	家族支援は日常的な相談対応はできているが、体系化されたプログラムが未整備である。	祝日開催の家族参加型イベントや保護者交流会を計画的に実施し、家庭支援を強化する。